

金城大学同窓会

《会報誌 第3号》 2009年11月発行号



《同窓会 活動報告》

平成21年度同窓会役員会 開催報告

《大学行事》

平成20年度卒業式、平成21年度入学式、新入生歓迎会、金城祭 など

《トピックス》

「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」、
「北國健康生きがい支援事業」、卒業生の施設利用について など

《研究・教育活動報告》

特別研究活動成果報告会開催報告、科学研究費補助金採択状況、
学生支援推進プログラムに採択 など



同窓会 活動報告

平成21年度同窓会役員会 開催報告

平成21年7月7日(火)19時30分から本学医療健康学部棟にて、平成21年度同窓会役員会が開催されました。会長の濱田陽介さん(1期生)、副会長の中野雄介さん(1期生)、会計監査の園谷準さん(1期生)をはじめ、合計11名の役員・委員、担当教職員にて実施しました。

役員会では、平成20年度事業報告・決算報告に続き、平成21年度役員・委員の選出及び事業計画案・予算案がいずれも承認されました。主な事業計画としては、同窓会会報誌第3号の発行、ホームカミングデイ(大学祭案内)の実施、同窓会ホームページの開設等の検討がなされ、いずれも承認されました。

卒業生の大学施設利用については、図書館とは別に新たな提案として、勉強会・自主ゼミ等を実施できる講義室等の利用体制を整備していき、また、各種資格取得に向けた対策講座開催支援の予算化、卒業生による在学生への支援(各種相談窓口設置等)など、今後の有効な支援体制が整備していただけるよう検討がされました。

また、昨年に続き、継続して審議してきた同窓会第1回総会については、医療健康学部が完成年度を迎え、合同組織体制となった後の平成24年度が同窓会開設10年目に当たることから、平成24年度に開催予定として準備を進めていくことを決定しました。その他にも、卒業生だからこそ感じている意見、提案等も出され、たいへん充実した意見交換の場にもなりました。お忙しい中でのご参加、本当にありがとうございました。

最後に、今後とも円滑な同窓会運営を行っていただけるよう役員及び委員の方々、卒業生の皆様のご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。(事務局)

同窓生活動報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、卒業後、さまざま環境の中でご活躍のことと思います。その中で、大小関わらず同期や同じサークルだった仲間内などで徐々に集まったり、大人数で同期会を計画・開催したり…等々、もしそのような機会を設けている方がいれば、是非、同窓会会報誌でも掲載させていただければと考えていますので、お気軽に情報をお寄せください。

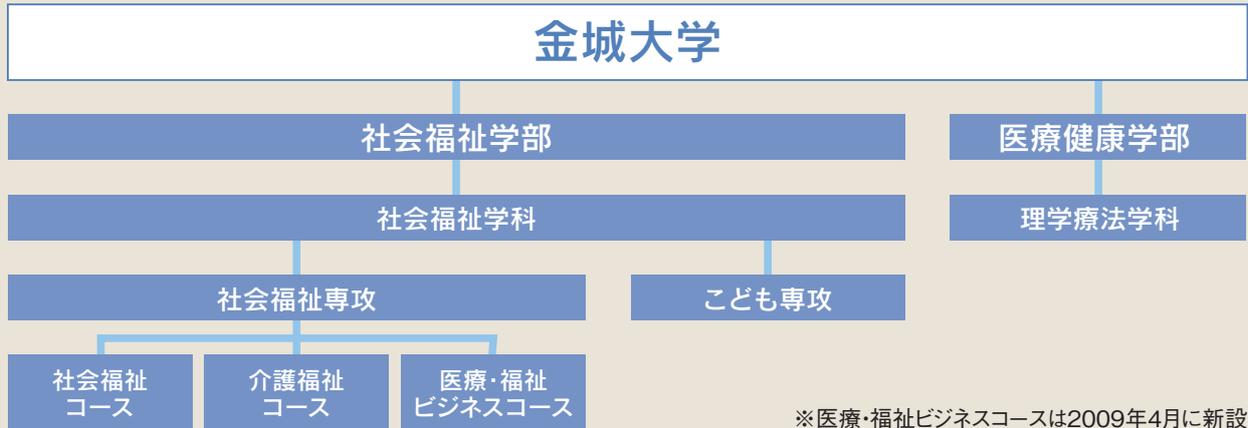
予算・決算 (平成20年度決算、平成21年度予算)

収入の部	平成20年度決算	平成21年度予算	支出の部	平成20年度決算	平成21年度予算
会費	3,940,000	4,200,000	会議費	5,452	50,000
利息	17,893	30,000	金城祭経費	47,450	60,000
雑収入	60,000	0	会報誌経費	435,750	500,000
前年度繰越金	18,070,607	21,363,823	ホームページ制作費	—	500,000
計	22,088,500	25,593,823	郵送費	146,680	200,000
			雑費	9,345	50,000
			会費	80,000	—
			次年度繰越金	21,363,823	24,233,823
			計	22,088,500	25,593,823

平成21年度役員・委員

会長	濱田 陽介 (1期生)
副会長	中野 雄介 (1期生)
会計監査	園谷 準 (1期生)、上田 良和 (1期生)
委員	内島 一憲 (1期生)、熊野 裕子 (1期生)、伊藤 恵里 (2期生)、久田 緑 (2期生) 寺井 紀裕 (2期生)、藤田 正憲 (2期生)、北平 玲子 (3期生)、田中 宏治 (3期生) 徳田 澄麗 (3期生)、新田 和恵 (3期生)、安土 貴子 (4期生)、川部 史香 (4期生) 小塩 麻里奈 (4期生)、清水 敦子 (4期生)、庄田 紋子 (4期生)、高橋 志未 (4期生) 林 裕也 (4期生)、森 美夏 (4期生)、池上 実季 (5期生)、越村 知恵 (5期生) 竹本 早希 (5期生)、山本 晴花 (5期生)、大谷 涼子 (5期生)、江川 珠右 (5期生) 辰田 沙弥香 (5期生)、中村 文香 (6期生)、早崎 久穂 (6期生)、草別 麻美 (6期生) 大久保 朋美 (6期生)、西村 仁美 (6期生)、宮原 千夏子 (6期生)、石川 友美 (6期生) 高橋 孝明 (6期生)
担当教員	松下 高信 准教授、高島 智世 准教授
担当職員	総務部

平成21年度 金城大学 学部・学科構成 一覽



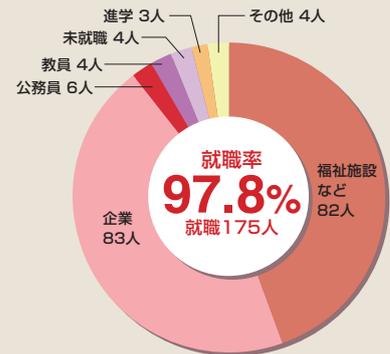
※医療・福祉ビジネスコースは2009年4月に新設

平成21年3月卒業生の進路結果 業種別就職状況 (2009年5月現在)

業 種	
【福祉施設など】	【企業】
高齢者施設 57人	医療・福祉 8人
障害者施設 9人	飲食・宿泊業 1人
児童施設 1人	金融・保険業 2人
医療施設 13人	販売・小売業 35人
NPO法人 2人	建設業 3人
計 82人	教育 4人
	サービス業 4人
	複合サービス業 6人
	不動産業 3人
	運輸業 4人
	情報通信業 1人
	製造業 10人
	その他 2人
	計 83人

職 種	
介護職 74人	警察官 2人
相談援助職 6人	消防 1人
支援・指導員 11人	寄宿舎指導員 3人
営業職 34人	計 6人
事務職 19人	
販売職 16人	【教員】
接客 2人	公立高校 3人
生産 4人	特別支援学校 1人
警察官 2人	計 4人
教員 4人	【進学】
消防 1人	専門学校 3人
その他 2人	計 3人
計 175人	

就職率 97.8%
卒業生 186人
就職希望者 179人
(就職175人・未就職4人)
進学 3人
その他 4人



就職率97.8%=就職者数175/就職希望者数179×100

平成20年度 金城学園財務概要

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒納付金	2,349,178
補助金	804,087
その他	177,286
基本金組入額	-225,260
消費収入の部(合計)	3,105,291

消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	1,997,598
教育研究経費	669,204
管理経費	478,084
その他	111,206
消費収入超過額	-150,801
消費支出の部(合計)	3,105,291

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	9,660,757
有形固定資産	(9,325,605)
その他の固定資産	(335,152)
流動資産	2,629,131
資産の部(合計)	12,289,888

負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額
固定負債	2,371,428
流動負債	891,933
基本金	10,707,973
消費収支差額	-1,681,446
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,289,888

※ 詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp/>)をご覧ください。

トピックス



卒業生の施設利用について
卒業生の皆さんも図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません。)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)
※必ず事前に図書館まで連絡(076・2764412)してください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間は在学生と同様です。

また、卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる



金城大学・金城大学短期大学部 公開講座

環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る詳細については、近日開講予定の同窓会ホームページをご参照ください。

平成21年度も5月2日から10月31日(各土曜日、全20講座)にかけ、短大部との共同事業として「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を開催しました。大学・短大部の先生方による健康や生活に根付いた講義が行われました。なお、平成22年度も開催予定なので、大学・短大部ホームページ等ご参照の上、是非ご参加ください。



ゆうがく広場・悠遊健康サークル
介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたレクリエーション活動事業として「ゆうがく広場」を、理学療法学科による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善活動事業として「悠遊健康サークル」を実施しています。活動状況の詳細につきましては、大学ホームページをご参照ください。

大学行事

卒業式 3・18

第6回卒業証書・学位授与式が白山市松任文化会館で行われました。社会福祉学部の卒業生185名が、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。



今年度の卒業式は、平成22年3月18日に白山市松任文化会館にて行われる予定です。

式では加藤理事長の告辞、本田学長が「思いやりと感謝の心を身につけ、実践する人こそ、本当に素敵な人です。どうか素敵な社会人になってください」と式辞を述べました。続いて、角光雄白山市長、実盛祥隆後援会会長より祝電を賜りました。卒業生を代表して中村文香さんが答辞を述べました。

また、同日、会場を金沢エクセルホテル東急に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

入学式 4・1

第10回入学式が白山市松任文化会館で行われ、260名が入学し大学生活がスタートしました。

加藤理事長が告辞を述べ、本田学長が「ゆうがくまな」ことに興味と関心を抱き、好



奇心と探究心を養ってください」と式辞を述べました。続いて、角光雄白山市長、実盛祥隆後援会会長より祝電を賜りました。新入生を代表して富澤香月さんが宣誓しました。



新入生歓迎会 4・11

新入生が早く大学生活に慣れるように、今年度も新入生歓迎会を実施しました。体育館でのクラブ・同好会紹介やウォークラリー、劇やクイズなどを通してビンゴ大会も行われました。豪華景品が用意されたこともあり、とても盛り上がりました。

新入生は歓迎会を通じて金城大学の良さを体感できた1日だったようです。

社会福祉学部・医療健康学部 新入生合宿研修 (2学部合同) 4・17～18 / 4・18～19

新入生合宿研修が、かんぽの郷白山尾口で開催されました。学生生活に必要なマナーを身につける、大学生として自覚と計画を持つ、異なる学部、専攻の学生との交



流を図ることを目的に行われました。レクリエーション、マナー講座、講話、懇親会などを通じて異なる学部、専攻の学生と交流を深め、今後の大学生活の第一歩を歩むことができました。と思います。

マナーアップキャンペーン

今年度も学友会が主体となり短大部と合同で、マナーアップ・喫煙マナー向上キャンペーンを実施(6月毎週1回)しました。駐車場に関するマナー等の向上、吸殻ゴミ等を拾い敷地内の美化運動を行いました。

金城祭 10・24～25

「喜跡」笑顔でつながる金城の輪をテーマに、第34回金城祭が10月24日(土)・25日(日)に開催されました。今年度は「エイジアエンジニア」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日ともたくさんの方にご来場いただき、大盛況のうち幕を閉じることができました。



北國健康生きがい支援事業

北國新聞社との共催による通年(年3回)事業として、北國健康生きがい支援事業を実施しており、金城大学プログラムとして、一般の方を対象にした「社会福祉学系講演会」、「医療健康学系講演会」、「福祉創造フォーラム」を開催しています。今年度は8月1日(土)に医療健康学部小山善子教授による「心の健康を考える」が付いていますか?からのサイン、9月19日(土)に社

会福祉学部木谷尚美准教授による「もつと知ろう認知症」を開催しました。
また、11月23日(月・祝)には、「第4回福祉創造フォーラム」(詳細については、裏面をご参照ください。)の開催を予定しておりますので是非ご参加ください。

退任教職員の案内

社会福祉学部の加瀬正二郎教授、守屋以智雄教授、藤森亨子教授及び、事務職員部長の長島莞一図書館事務課長が3月未で退任され、事務職員部長の板本直子学生部職員が4月未で退任されました。また、去る4月17日(金)に学校法人金城学園副理事長(当時)加藤恒先生がお亡くなりになり、5月31日(日)に本学日光アリーナにて「加藤恒先生を偲ぶ会」が開催されました。

特別研究活動成果報告会 開催報告

本学の教員を対象に学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、平成21年度は6月25日(木)・26日(金)の両日に13件の活動報告(平成20年度交付者による報告)を行いました。平成21年度の発表者は左記の通りです。

1 神谷 晃央 講師

「骨盤前後傾の違いによる股関節屈曲等尺性収縮筋力の変化」

2 佐々木 賢太郎 講師

「コルセットによる下部体幹固定が歩行時の骨盤・下肢筋活動に及ぼす影響」

3 木村 朗 教授

「日本の地方都市のタクシー運転手の肥満に及ぼす保健行動・身体活動量の影響」

4 岡村 綾子 講師

「X市における小・中学校教師のボランティア活動に関する実態調査」

5 川邊 弘之 教授

「NMRによる分子構造の決定」

6 平口 真理 教授

「強迫性障害患者のMMP1プロファイル傾向と認知行動療法前後におけるMMP1プロファイルの変化に関する検討」

7 下村 有子 教授

「視野狭窄者デジタルグラス試作品の開発」

8 小島 聖 講師

「高周波振動刺激が筋の柔軟性に及ぼす影響」

9 大塚 郁朗 教授

「幼児の発達・行動特性に関する実態調査II」



10 木村 剛 助教

「視野狭窄状態における視覚外乱の影響」

11 斎藤 幸江 准教授

「男女大学生における踵骨超音波骨指標と筋力および運動習慣に関する横断的解析」

12 木林 勉 准教授

「在宅脳卒中患者のQOLと日本語SS-QOLを用いて」

13 山本 拓哉 助手

「Functional Reach Test動作時における姿勢制御様式の変化について」



科学研究費補助金 採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、豊かな社会発展の基盤となる独自の・先駆的な研究に対する助成制度です。平成21年度の採択・交付者は左記の通りです。

1 永原 朗子 教授

「福祉科教育法」の体系的指導法および教育プログラムの開発」

2 木谷 尚美 准教授

「健康高齢者を対象とした認知症準備教育『認知症マイプラン』の作成の実践と評価」

3 元村 智明 講師

「戦前日本の社会事業の現代的特質に関する研究―社会・共同性を中心に―」

4 杉森 公一 研究員

「同位体置換による核磁気共鳴化学シフトの変化に関する理論的研究」

大学コンソーシアム石川 採択状況

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関(大学・短期大学・高等専門学校)が連携して、教育交流・情報発信・調査研究等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的としている組織です。平成21年度に本学が採択された事業は左記の通りです。

〈地域課題研究ゼミナール支援事業〉

1 木村 朗 教授

「白山麓の長寿の秘密と生活リズム等関連要因の研究」

2 田中 克恵 講師

「小規模高齢化集落が安心して暮らせる地域づくり(東二口地区)」

3 寺尾 研二 講師

「加賀市内3温泉の温泉浴における身体への影響と温泉保養・療養地としての資源活用の検証」

〈地域貢献型学生支援プロジェクト推進事業〉

1 小島 聖 講師

「はだしの広場(はだしで遊び、はだしで考える!)」

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択

文部科学省による大学教育・学生支援推進事業は、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学における学士力の確保や教育向上のための取組の中から、達成目的を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的とする助成制度です。今年度、本学は「早期に『社会人力』基盤を確立するキャリア教育」取組が、学生支援プログラム(就職支援の強化など総合的な学生支援)に採択されました。

第4回

福祉創造フォーラム

テーマ

医療・福祉に活かす最新の知見
～「自分らしく生きる」を支えるために～

日時 平成21年
11月23日(月・祝)
10:00～15:30

会場 **金城大学**
社会福祉学部棟
大講義室 ほか

スケジュール

9:30～10:00 受付
10:00～ 開式
10:30～12:00 基調講演
12:00～13:30 休憩
13:30～15:30 分科会

定員 先着200名 (※基調講演) 平成21年11月23日(月) 17:00必着

申込先 **フォーラム実行委員会事務局**

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地(金城大学内)
TEL 076-276-4400/FAX 076-275-4316
E-mail: forum@kinjo.ac.jp
<http://www.kinjo.ac.jp/>



主催/金城大学、金城大学後援会、北國新聞社
主管/金城大学
後援/石川県、白山市、白山市教育委員会、社会福祉法人石川県社会福祉協議会、
社団法人石川県理学療法士会、社団法人石川県介護福祉士会



※加賀共済大学から徒歩10分

金城大学の建学理念等

建学理念

明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成

目的及び使命

教育基本法および学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

教育理念

教育とは、教員と学生との全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への良い影響である。学生とともに毎日学内で過ごす生活そのものが教育である。

教育目的

社会福祉、保育及び幼児教育、または医療及び健康を担う総合力と旺盛な意欲、職場の即戦力につながる社会人の基礎、そして社会で幅広く活躍する積極性を身につけ、福祉の心を持ったエキスパートとして卒業生を社会に輩出する。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌を発刊、送付させていただきますので、ご一読いただければ幸いです。今回の送付に際しまして、現住所等に変更がある方もいることと思います。そこで、送付先等につきまして変更のある方は、メール・電話・Fax(※下記参照)にてご連絡くださいますようよろしくお願いいたします。なお、個人情報につきましては、同窓会関係の連絡のみに使用させていただきます。

今後とも、同窓会の活動に、益々のご理解・ご協力の程、よろしく願っています。

大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>

テレメール/資料請求受付(24時間)

- 音声ガイダンスに従って資料番号を入力してください。
IP電話 050-2015-0555
大阪 06-6222-0102
- 資料請求番号 160793 (2日で資料が届きます。)
※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡ください。